

太田道灌

2018年3月11日 平川敏彦

- 「道灌の先祖」足利将軍、公方、管領山内、補佐扇谷上杉と道灌の関係
- 「永享の乱」足利幕府が管領上杉憲実と共に公方足利持氏を討つ。
- 「結城合戦」結城氏が公方持氏の遺児を擁立し幕府+上杉と戦う。
- 「江の島合戦」享徳の乱の前哨戦 お互い鎌倉を出て江の島で戦う。
- 「享徳の乱」公方持氏の遺児成氏が将軍+上杉と戦う。
- 「古河公方と堀越公方」の誕生。
- 「第一次五十子の戦い」（戦いは武蔵国北部へ移る）
- 京都で「応仁の乱」勃発。
- 「今川家督相続で伊勢新九郎（北条早雲）と相まみえる。
- 「道灌上洛」天皇の問いに詩で答える。
- 「長尾春景の乱」長尾家家宰職相続をめぐる戦い。
- 「豊島一族の乱」豊島一族が存亡をかけて参戦する。
- 「第2次五十子の戦い」
- 「江戸城での風雅」文化人万里集九が訪れる。
- 「太田道灌状」山内上杉へ意見書を送る。
- 「道灌暗殺」
- その後の山内上杉と扇谷上杉
- その後の関東。北条早雲、上杉謙信の登場